

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日時	令和2年7月21日（火） 18:25～19:30
場所	伊那市役所 庁議室
議事内容	
1 開会のことば 水道部長	
2 あいさつ 会長	
3 会議事項（議長 会長）	
(1) 令和元年度水道事業及び下水道事業の決算状況について	
・資料により、事務局説明	
・質疑討論	
(委員) 人口が減る一方で、環境から考えればよいことなんですけど節水等も進んでいき、水道事業・下水道事業を巡る環境は決して良くありません。そのような中で決算の資料を見て、非常に頑張っていると思います。だからと言ってこのままでよいかという決してそういうわけでもありません。水道事業・下水道事業だけで解決できる場所は何なのか。あるいはそうではない、例えば人口減少などは水道・下水道だけでは話には出来ませんので、減少していく原因の切り分けをしっかりと行った上で、今後の見通しの中でどこに改善の余地があるのかがとても大事だと思います。	
(委員) 伊那市の下水道使用料が県下で高いほうなのに、利益がそれほど高くないのはなぜでしょうか。	
(事務局) 企業債の残高が大きいことが影響していると思います。先ほどの決算の資料にもありましたが、企業債の利息だけで4億5千万円ほどかかっており、これが他市に比べて利益が少ない主な原因となっています。	
(委員) 高齢化が進んで料金を払えなくなっていく。値上げは絶対反対なので、一般会計からの繰り入れを今後もお願いしたい。	
(2) 令和2年度水道事業及び下水道事業の予算概要について	
・資料により、事務局説明	
・質疑討論	
(委員) 令和2年度の予算については例年並みということでよいでしょうか。	
(事務局) 相対的には若干減となっています。	
(事務局) 下水の関係では、面整備を今まで行ってきましたが、令和元年度で美篁の上大島まで完了しています。残る所では、伊那処理区で様々な要因で出来なかったところが多少ありますが、面整備は概ね終了し、管きょ整備費が減ってきています。今後は古くなった管更生やポンプなどの更新を行っていくようになるため、今までより投資は減	

っていきます。

(委員) 今後は整備から維持に変わっていくということですが、令和2年度の予算からそうなるのでしょうか。

(事務局) スtockマネジメント計画で現有資産の見直しを行いながら、国の補助を受け、長寿命化を行っていきます。

(3) 水道及び下水道事業経営健全化計画の進捗状況について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 水道事業の有収率が目標の数値に届かなかったということだろうと思いますが、目標が大きかったため届かなかったのか、あるいは別の原因があるのかといったあたりはどうでしょうか。

(事務局) 有収率がなかなか上がらないというのは漏水に原因があります。配水管から各家庭につながる給水管に漏水が見られます。検針時に同時に漏水の調査を順次行っていますが、地道な作業になるためすぐに効果がでるという状況ではありません。着実に進めていく必要がありますので、検針時漏水調査以外に、令和元年度で漏水調査の機械も導入しました。

(委員) 伊那市の有収率は他市と比較すると低いということですが、裏返して考えると伸びしろがあるとも言えます。地道な作業になるとは思いますが、有収率が上がるよう様々な対策を引き続きお願いしたいと思います。

(4) 地域再生計画について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 地域再生計画の事後評価については、指標1～3の目標はいずれも目標値を上回っており良いと思います。事業の進捗状況は、個人設置型浄化槽整備事業については、計画210基に対して142基ということで計画を下回っていますが、今後どのようなようになっていくのでしょうか。

(事務局) 浄化槽については今後も補助を行いながら整備をしていきます。下水道計画の無いところについては基本的に浄化槽を設置することになります。

(委員) 中間で78基、最終142基ですから、一定の設置は進んでいると思いますが、今後もこれぐらいの数値で推移していくということでしょうか。

(事務局) 既存の住宅への設置が減ってきておりますので、あとは新築住宅への設置が主になると思いますので、同じような状況で進んでいくと思います。

(5) その他

- ・なし

4 その他

(事務局) 当審議会の今後の予定については、委員の皆様の任期が今年の11月末までとなっております。この後特別な事情が無い限り会議の開催予定はございません。そのため今回が現委員の皆様の最後ということになります。2年間お世話になりました。

5 閉会のことば

水道部長

以 上